

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori



謹賀新年

新年のご挨拶

1

2026

vol.629

令和8年の年頭にあたり

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。
昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移していましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。
近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井 功
たるい いさお

境は大きな変革期を迎えております。
この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。
この一歩を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。
JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。
結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和8年の年頭ご挨拶



東川町農業協同組合
代表理事組合長
牧 清隆
まさ きよたか

令和8年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
旧年中は、当組合の事業運営に對しまして、深いご理解のもと格別のご利用とご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年の営農を振り返りますと、6月以降は好天に恵まれ作物の生育は順調に推移したことから出来秋への期待が高まりましたが、春先の低温寡照や高温障害・倒伏の発生から、水稲・野菜とも収量的には平年を下回る厳しい作柄となりました。また、国際情勢の不安定さや資源高、円安など生産資材価格の高止まりは依然として続いています。
しかしながら、米概算金は歴史的な高騰となり、予想収穫量の見通しと市場需要の変化が相互に影響し合い、これまでにない価格上昇を生み出しました。また、野菜でも夏場の極端な高温・干ばつにより全国的な品薄状態にて引き合いが高まり、取引価格は高値で推移したことで一年を通して安定した農業経営が図られました。
昨年8月には、東川町からの絶大なるご理解とご支援により機能性精米工場に引き続き、待望の「ひがしかわライスターミナル米穀乾燥調製貯蔵施設」が無事完成し、秋口より一斉稼働いたしました。
粳米の取扱いは初めてであり、組合員、職員とも様々な不安と緊張の中での作業ではありましたが、

ライスターミナル利用推進連絡協議会より沢山のあたたかいご指導をいただき、更には利用組合員のご理解とご協力を得て、全集荷実績の内、ライスターミナル出荷割合は、ゆめぴりか96.2%、ななつぼし93.0%と当初計画以上のご利用をいただきました。
令和7年産水稲の管内作況単収指数は96とやや不良となりましたが、当組合の最終実績は特定米穀を含め当初契約対比98%の集荷率となり、組合員の皆様が長年にわたって築き上げてきた東川米ブランドの再構築と、農協結集に力を合わせていただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。
また、職員や従業員の皆様にも、ライスターミナルでの荷受・乾燥・調製作業や、お客様からの多種多様な要望に對応した営業活動と搗精業務など常に最善を尽くし全力で取り組んでいただきましたことに、重ねて感謝を申し上げます。
ライスターミナル運営の初年度は、組合員と役職員が互いに協働しながら無事所期の目的を達成することが出来、真の農業協同組合の価値と強みを見事に発揮していただきました。
この新施設の誕生は、農業経営の省力・低コスト化と増産・規模拡大、複合化に寄与できることを、町民の皆様には定期購入無料宅配サービスや「健康ひがしかわ米」特別価格により、「東川米」や「JAの活動と事業」に対する信頼と評価を一層高めていただきました。
今後は、国内のみならず世界に通用するブランド力と競争力の強化に貢献できる施設であり続けるために、これからもライスターミナル運営に誠心誠意努めてまいります。
昨年7月の参議院議員選挙では、多くの皆様にご支援いただき、全国農政連盟顧問JA道北なよろ前組合長の東野秀樹氏が初挑戦で初当選を果たすことができました。現在、参議院農林水産委員会議事に就任されて米政策や畑作物直接支払交付金政策などの見直しと予算確保に向けて日々、全力で取り組んでおられます。
国は、「食料・農業・農村基本計画」のもと「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ国民一人一人がこれを手でできる状態」と定義付けしました。

世界の食料需要が増加する一方で、気候変動や地政学リスクの顕在化により食料生産が不安定化していること。また、国の経済的な地位の低下や物流リスクの顕在化に伴う安定的な輸入の確保、国内の農業生産の増大を図ることを基本に食料の安定的な供給を行うこととしてまいります。
このため、本町においても多様な米や野菜づくりを基幹産業とすまらちとして、その特性を十分に生かしながら時代の流れに即した支援施策を積極的に推進させ、必要な財源や人材、高度技術への新たな流れを呼び込み、「地元」に愛される東川米・ひがしかわサラダのまち」になる仕掛けづくりが重要となります。
本年は、第17次東川町農業振興計画および第19次JA中期経営計画期間の最終年度を迎えます。これまでの主要施策や実践項目の達成度を検証し、実績と成果、現状の問題や課題を洗い出し、農政改革や地域特性等を踏まえながら次期計画を策定してまいります。

昨年は、東川町や商工会、観光協会、近隣JAの皆様方にご協力を賜りながら、7月はJA・商工会青年部共催「ひがしかわアグリマルシェ」、8月は「ひがしかわライスターミナル竣工式」と「東川米生産130年記念大餅まき会」、10月は「健康ひがしかわ米・新米キャンペーン」や「第1回ひがしかわ新米まつり2025」を開催し、組合員をはじめ多くの皆様にお越しいただき、無事盛会のうちに終了することができました。本年も引き続き、皆様に喜んでいただけるような催しを企画していききたいと思っております。
また、本年4月完成予定の「ひがしかわライフスタジオ」は、新たに当組合の地域コミュニティホールとして、冠婚葬祭場や会議室イベントホールとして新規事業を進めてまいります。また、同施設には美容室も併設されますので多くの皆様のご利用を心よりお待ちしております。
結びになりますが、組合員とご家族の皆様がご健勝にて穏やかに営農と生活を営むことが出来ますよう切に念願し、あわせて豊様の出来秋となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます
— 東川町農業協同組合 —

会長	樽井 功
代表理事	組合長 牧 清隆
専任	事務 高 倉 直 樹
信用	担当 樽 井 博 行
理事	理事 金 巻 克 己
理事	理事 馬 場 伸 二
理事	理事 林 克 政
代表	代表 森 山 守
常務	常務 片 山 孝 司
監事	監事 岡 村 博 信
監理	監理 米 田 保 範
管理	管理 金 柏 倉 崇 邦
金融	金融 販 売 部 長 高 橋 賢
購買	購買 部 長 林 義 浩
農業	農業 振 興 部 長 笹 村 道 雄
振興	振興 部 長 笹 村 道 雄
外	外 職 員 一 同

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうござい
す。皆様におかれましては健やかに新
年を迎えられたこと、心よりお慶び申
し上げます。旧年中は、部員並びに組
合員、ご家族様、JAひがしかわを
始めとする各関係機関の皆様方には、
日頃から青年部活動に對しましてご理
解ご協力を誠にありがとうございました。
昨年を振り返りますと、春先の悪天
候、夏の高温に見舞われ、農作物の生
育には厳しい一年となりました。また、
ロシア・ウクライナ戦争や円安の影響
による肥料・燃料・生産資材の高騰が
未だ続き、「令和の米騒動」による米
不足が続く中、米の価格が大きく高騰
するなど、依然として農業を取り巻く
環境は目まぐるしく変化を続け、先の
見えない状況が今なお続いております。
そのような状況の中ではあります
が、秋には令和6年に稼働が開始した
機能的精米工場に続き、ひがしかわラ
イスターミナル米穀乾燥調製貯蔵施設
の稼働が始まり、東川農業にとっても
大きな一歩を踏み出した一年にもなり
ました。
JAひがしかわ青年部におきまして
は、部員の皆様の協力により多くの活
動を実践することができました。その
一つが、「東川町商工会青年部との合同
イベント」「東川アグリマルシェ」の開
催です。一昨年から協議を重ね、イベ
ントを構想し、令和7年7月13日につ
いに開催に至りました。イベントでは



JAひがしかわ青年部
部長 梶畑 宏弥

は、共同利用によるコスト効率の改善と、
米の品質均一化に直結します。今後も、こ
の強固な協調体制を継続していくことが、
地域農業の競争力を高める鍵となると確信
しております。また、高品位ロットの安定
確保が実現できれば、精米販売による所得
拡大にもつながることから、会員総意のも
と、高品質東川米生産運動により高品質米
生産基盤の強化を図り、農業所得安定確保
に寄与する施設として会員皆様のご利用を
引き続きいただければ幸甚に存じます。
現在、米を取り巻く環境は厳しい状況に
ありますが、私たちが誇る「東川米」は、
その食味の良さと品質の高さから消費者か
ら高い評価を得ています。この優位性をさ
らに盤石なものとするため、来年度は、東
川米でも特に好評をいただいているゆめび
りか、なつぽしの主食用米の作付面積の
維持、さらには戦略的な拡大を目指してま
いります。面積維持のためには、今年の減
収を乗り越え、高品質・高単価を確実に実
現できる技術の徹底が必要です。研究会と
して、来年も技術研修の充実と情報共有を
強化し、すべての会員が更なる高みを目指
せるよう支援してまいります。
結びとなりますが、当研究会では皆さま
の営農活動の一助となるべく、生産費用高
騰下における低コスト化やスマート農業の
導入、高品質米生産技術の普及に向けた実
証試験等を普及センター、関係機関のご指
導ご協力を頂き、消費者・需要者に求めら
れる産地として、安定した収量・品質の確
保ならびに多岐にわたる有効的な情報発信
に努めてまいりますので、引き続き会員皆
さまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げますとともに、本年が実り多き
年になりますようお願い申し上げます。新年の
ご挨拶とさせていただきます。

また、営農研究活動として、「複合経営
について」「経営者として」をテーマに、
部員の更なるステップアップに向けた学習
会を開催し、様々な知識を得ることができ
ました。11月に開催した道内視察研修で
は、札幌みらい中央青果(株)、雪印種苗
(株)を視察し、これからの営農に活かす
ことの出来る、実りのある視察研修となり
ました。キャラバン隊事業では、多くの人
に東川農産物を知ってもらいたいという思
いから、旭川地場産業振興センターにて開
催された「冬の地場産フェア」に出店し、
東川農産物のPR活動を行い、来場者に
農産物の美味しさや魅力を伝えながら、東
川町や東川農業、JAひがしかわ青年部の
ことを知ってもらうことができました。今
後も多くの消費者の期待に応えるべく、部
員一同励んでまいります。他にも交流事業
の一環として、本年1月にはJAひがしか
わ青女部と交流会を開催することとなりま
した。交流会では、部員同士はもろもろの
こと、若いJAひがしかわ職員の皆様とも
親睦を深め、共に協力し合いながら、東川
町の農業を支えていく体制を築いていき
たいと思っています。

新年あけましておめでとうござい
す。皆様におかれましては健やかに新
年を迎えられたことと心よりお喜び申
し上げます。昨年は、女性部活動に對
しまして多大なるご支援、ご協力を賜
り厚く御礼申し上げます。
本年度より、ひがしかわライスター
ミナルが稼働し、施設利用により収穫
作業が効率化され、生産者の負担が大
幅に軽減されました。来年度以降に向
けて多くの課題も残る年となりました
が、ひがしかわライスターミナルが本
町農業の未来を担う施設になることを
信じております。また、本年度の米価
は今までない価格となり、農業用機
械や生産資材が高止まりする中、先々
を見据えた持続可能な農業が形を成し
てきたのだと感じています。
JAひがしかわ女性部の活動で
は、6月よりJAひがしかわ青年部
との合同事業である「農家めしレシビ
コンテスト」に向けたレシピ開発をお
こない11月に開催されたレシピコンテ
ストでは「プロックリーの素揚げ油淋



JAひがしかわ女性部
部長 津谷 千代子

鶏風」がグランプリを受賞し、多くのメデイ
アにも取り上げられました。プロックリー
を素揚げし、アイコを焼き、最後にごま油
で調理をしたネギダレをかけて完成するこ
の料理は、すべての食材が東川農産物で作
れるおかずとなっています。今後も地元
の農産物を活用し、簡単に野菜をたくさん摂
れる地消地産のレシピをJAひがしかわ
青年部と力を合わせて考案していきたいと
思います。
また、JAひがしかわ第1回新米ま
つりでは、東川町米づくり130年を記念し、
部員の皆様や多くの町民にご参加いた
だき、下國伸シェフ監修のもと130mの「ひ
がしかわロール」を作りました。他にも写
真甲子園での炊き出しや捨て布作り、てん
げつ庵の高島オーナーを招き、部員の皆様
と「さつまいものコンポート」を作るなど
多くの活動を行いました。これからも様々
な形で地域や部員との交流を図りながら、
多岐に亘る活動を展開していきます。
最後になりますが、東川農産物を通し
た「魅力あふれる食育活動の実践」をテー
マに、今後もJAひがしかわ女性部の更
なる発展に向け精進してまいりますので組
合員の皆様、町民の皆様には本年もご理解
ご協力賜りますようお願い申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

東川町稲作研究会
会長 板谷 智徳



新年あけましておめでとうございま
す。会員の皆様におかれましては、新
年の良き新春をお迎えのことと心より
お喜び申し上げます。また、旧年中は
稲作研究会事業に對しまして、格別
のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
今年度の稲作を振り返りますと、北
海道の作況指数「98」、当上川管内に
おいては「96」となりました。東川町
では、主力品種であるゆめびりか
において、夏季の記録的な高温の影響
を大きく受け、本年度の収量実績は
74729俵となり前年対比92%
(▲9,200俵)と厳しい結果とな
りました。この減収は痛手ではありま
すが、品質維持のために尽力された皆
様の日々の管理、特に適期での水管理
や病害虫対策への迅速な対応に深く感
謝申し上げます。この経験を教訓とし、
来年度以降は異常気象に強い作付技術
の研究を加速させる必要性を、改めて
痛感しております。
次に、本年度より稼働を開始いたし
ましたひがしかわライスターミナルに
おいては、当初計画していた利用数量
を上回る結果となりました。減収とな
った中でも、皆様が計画的にライス
ターミナルを利用し、連携して効率的
な運用にご協力いただいた証であり、
誠に感謝しております。施設の高稼働

は、共同利用によるコスト効率の改善と、
米の品質均一化に直結します。今後も、こ
の強固な協調体制を継続していくことが、
地域農業の競争力を高める鍵となると確信
しております。また、高品位ロットの安定
確保が実現できれば、精米販売による所得
拡大にもつながることから、会員総意のも
と、高品質東川米生産運動により高品質米
生産基盤の強化を図り、農業所得安定確保
に寄与する施設として会員皆様のご利用を
引き続きいただければ幸甚に存じます。
現在、米を取り巻く環境は厳しい状況に
ありますが、私たちが誇る「東川米」は、
その食味の良さと品質の高さから消費者か
ら高い評価を得ています。この優位性をさ
らに盤石なものとするため、来年度は、東
川米でも特に好評をいただいているゆめび
りか、なつぽしの主食用米の作付面積の
維持、さらには戦略的な拡大を目指してま
いります。面積維持のためには、今年の減
収を乗り越え、高品質・高単価を確実に実
現できる技術の徹底が必要です。研究会と
して、来年も技術研修の充実と情報共有を
強化し、すべての会員が更なる高みを目指
せるよう支援してまいります。
結びとなりますが、当研究会では皆さま
の営農活動の一助となるべく、生産費用高
騰下における低コスト化やスマート農業の
導入、高品質米生産技術の普及に向けた実
証試験等を普及センター、関係機関のご指
導ご協力を頂き、消費者・需要者に求めら
れる産地として、安定した収量・品質の確
保ならびに多岐にわたる有効的な情報発信
に努めてまいりますので、引き続き会員皆
さまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げますとともに、本年が実り多き
年になりますようお願い申し上げます。新年の
ご挨拶とさせていただきます。

東川町蔬菜園芸研究会
会長 溝口 大和



新年あけましておめでとうございま
す。会員の皆様、ならびに関係各位にお
かれましては、希望に満ちた新春をお
迎えのことと、心よりお慶び申し上げ
ます。
日頃より東川町蔬菜園芸研究会の活
動に對し、深いご理解と温かいご支援
を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、4、5月の
低温により初期生育は遅れ6、8月
は長期的な高温、干ばつの影響により
施設野菜、露地野菜ともに大きく収量
を減らす事となりました。
また、資材価格の高騰や人手不足な
ど、農業を取り巻く環境は依然として
厳しい一年でありました。そのような
状況下においても、会員一人ひとりが
創意工夫を重ね、高品質で安全・安心
な農産物の生産に努め、東川町の農業
を支えてこられたことに、会長として
深い敬意を表する次第であります。
また、各関係機関や行政、流通関係



者の皆様との連携により、栽培技術の向上
や情報共有、担い手育成に向けた取り組み
を執り進めることができました。こうした
積み重ねが、地域農業の持続的な発展につ
ながっているものと確信しております。
本年におきましても、環境に配慮した農
業の推進、安定生産に向けた技術研修の充
実、若手農業者や新規就農者が意欲を持っ
て活躍できる体制づくりに、研究会として
積極的に取り組んでまいりたいと考えてお
ります。
会員相互の交流を深め、知恵と経験を共
有しながら、変化の時代に対応できる強い
園芸産地を築いていくことが重要でありま
す。
結びに、本年が会員の皆様にとりまして、
実り多く、健康で安全な一年となりますこ
と、そして東川町蔬菜園芸研究会がさらな
る発展を遂げる年となりますことを心より
祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせて
いただきます。

冬期合同農協懇談会・准組合員懇談会

貴重なご意見ありがとうございます。今後の事業運営に反映させてまいります。

日時：令和7年11月27日(火) 15:00より

令和7年11月29日(土) 10:00より

◎営農企画課

【意見】 ひがしかわライスターミナル（以下「RT」）受入が開始されたことで、JA青年部による網下米の受入業務が減少した。青年部活動を積極的に展開していくためにも、受入業務に代わる新たな対応を検討してほしい。

【回答】 網下米や色下米の受入業務に代わり、次年度からはRTの玄米や精米製品の保管業務など、新たな委託作業を提案いたします。

【意見】 農地再編整備事業によって、小規模農家の減少が懸念されており、道路景観の維持管理など町全体にとっても多大な影響が出る。美しい農村景観や生態系保全のため、行政に対して支援要請を行っていただきたい。

【回答】 本町には、美しい田園風景が形成され町民の憩いの空間でもあり、観光産業にも多くの経済効果をもたらしています。農道や排水路の維持管理も含め、美しい水田景観と多面的機能

を有する農村空間が維持できるよう、自治会や行政、関係機関との協働により、今後も保全活動を推進してまいります。

【意見】 圃場区画の大規模化により、大型機械等の導入が可能となったことから、補助事業を活用して農業者の経済的負担を軽減してほしい。

【回答】 経営体育成支援事業やスマート農業機械等導入支援事業などの補助事業と、本町の「恵みの田園づくり支援事業」の積極的な活用により、経営環境の変化に対応し得ることができるよう支援してまいります。詳しくは営農企画課までお問い合わせ下さい。

【意見】 JA青年部・女性部の組織名について、将来的には差別用語として問題になるのではないか。例えば「食育部」など、性別にとられない名称に変更させることも必要と考えます。

【回答】 現在の国際社会では、ジェンダー主流化のもと、性別を強調する表

現や名称等の見直しが推奨されています。貴重なご意見として、各部署ならびに上部組織にもお伝えいたします。

【意見】 現在建設中の「コープの家」の利用方法を教えてほしい。

【回答】 来年2月完成予定の「コープの家・多目的交流施設」は、町の複合施設として運営されます。町民やコープさっぽろ組合員との交流活動のほか、北海道神宮祭事での使用も予定しております。使用料など、詳しい利用方法が分かり次第ご連絡します。

◎営農企画課・米穀課

【意見】 本町の水田（稲作）を守るために、これからは新規参入者に稲作を行っていただく必要があると思うが、JAはどのように考えているのか。

【回答】 農業者は年々減少していきますが、新規参入者の育成確保に向けては、町や関係機関、研究会と連携して受入体制の整備改善や稲作経営に必要な実践的

ノウハウ等の構築を図ってまいります。

◎米穀課

【意見】 RT運営では、様々な課題はあったものの、職員の努力と組合員の協力により乗り越えられた。しかし、出荷制限が発生したことにより、刈遅れによる品質低下も懸念されたと思う。次年度からも出荷制限が解消されなければ、利用者の設備増強も進まなくなる。改善策として仮置き施設を設置したらどうか。

【回答】 1日当たりの受入量は600トンと制限しているため、事前の受入計画を基に過不足があった場合、出荷量を調整しなければなりません。本年度の受入実績や利用者別の出荷動向を検証し、次年度は予約システムの運用高度化や人員配置など、スムーズな受入体制に向けて改善に努めてまいります。

【意見】 RT出荷では、出荷用テナナの一時不足を解消するため、自己施設の拡充等が必要と考えるが、それに

対する助成金はないのか。また、過去に生産者宅の乾燥施設などを調査していたが、乾燥調整能力の高い組合員には事前に多くのテナナを引き渡してほしい。

【回答】 コンテナの一時不足では、庭先や圃場付近に多く積み置きしていた方もいましたので、次年度からは必要な方に滞ることのないよう、公正・公平な貸出ルールを策定いたします。また、施設整備にかかる補助事業へのご相談は、営農企画課までお問い合わせください。

【意見】 RT受入時の急な降雨には、職員がコンテナカバーシートを掛けるなど苦労されていたが、自分が出荷用コンテナを受け取った時は濡れた状態のまま渡され、可能な限り乾かした後、稲を入れた。次年度は施設内での保管やコンテナポケットの改良など、雨対策を検討してほしい。

【意見】 今年も突然の降雨で大変だったが、コンテナカバーは付けて出荷させるなど、ルール化が必要ではないか。

【回答】 RT出荷では、運搬時のトラックシートと雨天時のコンテナカ

バーシートを併用することとしています。また、荷下ろし後の降雨対策では、ブルーシートやコンテナカバーで対応しております。仮置き場所やコンテナポケットの変更など、様々な状況に応じて適切な受入環境を整備してまいります。

【意見】 機能性精米工場から出る「米糠」や「割米」などの活用方法を教えてください。

【回答】 米糠は「コメ油」や「肥料」に、割米や破碎米は「米粉」や「ライスレジン」などの原料として、穀殻に至るすべての副産物は捨てることなく有利販売に努めてまいります。

【意見】 次年度の営農計画策定に向けて、どの程度の収入価格を設定すべきかわからない。現段階でのJAが考える価格水準を教えてください。

【回答】 令和8年6月末の民間在庫量予測では、適正在庫量の200万トンを大きく超える見通しとなっており、今後、市中価格の下落が予想されます。JAは、精米取扱高を上げながら20,000円/俵台を維持できるように、さらに営業力の強化を図ってまい

ります。今後も全量JA出荷、RT利用継続についてご理解とご協力をお願いいたします。

【意見】 「JAひがしかわ定期便（東川米宅配事業）」の利用状況と、輸出事業の状況について教えてください。

【意見】 RTの機能性精米工場は、輸出事業に特化した施設であると聞いたが、現在の輸出事績を教えてください。

【回答】 定期便の利用者数は、当初計画を超える225件となり、取扱数量は「健康ひがしかわ米」など30トンの実績となっています。また、輸出事業

は、アジア圏を中心にアメリカ、ヨーロッパなど世界10か国に輸出しており、1,000トンの輸出実績となっています。

【意見】 「健康ひがしかわ米」は、どれぐらい売れているか。また、お客様からどのような評価をいただいているか。

【回答】 令和6年産「健康ひがしかわ米」の取扱実績55トンから、7年産11月末現在では76トンと、すでに前年より21トン増加しています。(株)サタケ(広島県)との共同研究のもと、東川米の栄養価と食味安定による特殊



精米技術により、米飯の食味や食感など高い評価をいただいております。全国からご注文をいただいております。

【意見】今年の「ゆめぴりか」は、全体的に減収したと思われるが、米価高騰により収益減少は無いものの、非常に危機感を感じている。価格差も無く、収量が安定している「ななつぼし」に作付移行される生産者が増えると思われる。「ゆめぴりか」の作付面積維持・拡大に向けた買入価格の設定と、作付意欲の向上に向けた取り組みを期待したい。

【回答】「令和の米騒動」では、集荷業者や卸売業者は必要な量が集められず、「米であれば、どのようなものでも集める」との姿勢から、産地・品種銘柄に関係なく買い集めたことで品種銘柄間の価格差がなくなり、高級銘柄米の価格序列が逆転しました。これら一連の動きから、産地名や品種銘柄へのこだわりは弱くなりましたが、J Aの精米商品による「商品化戦略」と「販売戦略」のもと、東川米ブランドを牽引してきた「ゆめぴりか」は、これからも当地の代表品種であることから、品種・品質間によるプレミアム効

果のもと、経済的メリットを確実に創出してまいります。

【意見】「J Aひがしかわ定期便」を利用しているが、10 kg袋は重たく5 kg袋での供給を検討してほしい。また、生産者には「食」の安全・安心を常に心掛けてほしい。農薬の使用量も少なくなるよう努力し続けて欲しい。

【回答】製造コストや販売価格にも配慮しながら、ご要望にお応えできるよう検討します。また、J Aの農産物は、国の基準より厳しい農薬使用基準を設けて栽培管理されており、安全性をより高めるため「ひがしかわアグリ2050宣言（みどりの食料システム戦略）」に基づき、さらに化学農薬や化学肥料の使用低減を推し進めてまいります。

【意見】今年も新米キャンペーンや定期便で東川米を購入していますが、来年度の新米キャンペーンは9月中に行ってほしい。

【回答】来年の水稻の生育、収穫時期の見極めと、適宜な開催日程を選定してまいります。

◎購買指導課

【意見】現在建設中の「ひがしかわライフスタジオ」の利用方法を教えてください。

【回答】来年5月完成予定の「ひがしかわライフスタジオ」は、J Aの地域コミュニティホールとして、冠婚葬祭場や会議室、イベントホールとして運営します。また、施設内には美容室も併設されますので、組合員皆様のご利用をお待ちしております。

◎国営

【意見】農地再編整備事業による表土戻しの遅れについて、融雪作業が遅れ、作付け等に支障が出た場合、補償してもらえるのか。今後は、工事が遅れる場合も想定し、早めの対応をお願いします。

【回答】国からの補償等はありませんが、推進センターとしては、適宜に工事の進捗状況を提供してもらい、耕作者と緊密に情報共有してまいります。「年内引渡し」についても、国は従来の発注方法を改善するなど、出来る限り年内に引き渡しの努めることとしています。

◎管理課

【意見】友人達とRTや機能性精米工場を見学することはできますか。

【回答】施設見学をご希望されます方は、J Aホームページで受付を行っております。世界初の設備等もありますので、ぜひご家族やご友人お誘い合わせの上、ご来場ください。

【意見】「ひがしかわ新米まつり」には、町外の方が多く来場されていた。過去は、組合員へ抽選券配布やおにぎり提供等があったが、今回はなかった。もっと組合員がたくさん来場できるような企画にしてほしい。

【回答】この新米まつりは、本町の三大祭りとして、生産者やJ Aご利用の皆様を始め、町民の皆様に感謝の気持ちを込めて、地元の新米や農産物、加工品などを提供し、ご家族やご友人と一緒に東川米を味わい楽しめる催しとして企画しました。お寄せいただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。

【意見】「健康ひがしかわ米」を食べたが、通常の精白米より糠の香りが若干あると感じた。しかし、この懇談会で商品特性の説明を聞き、これからも食べ続けてみようと思います。

【回答】「健康ひがしかわ米」は、通常の精白米と同等の食味でありながら、食物繊維・ビタミンB1・ビタミンE・マグネシウムなどの栄養価をたいへん多く含むお米です。J Aの機能性精米工場でしか製造・流通できない特別なお米ですので、ぜひ末永くご賞味ください。

【意見】J Aには、小麦アレルギーの子供達に「米粉」の普及拡大を期待しています。町内で東川産米粉も簡単に購入できれば良いと思います。

【回答】東川町商工会との連携のもと、町内事業者に東川産米粉を提供しております。今後は、家庭用サイズでの取扱いなども企画してまいります。

◎青果課

【意見】新規就農者や若手農業者に対し野菜作付けを推奨しているが、非常に苦勞されている。野菜づくりへの支

援は、どのような内容なのか。

【回答】安定した農業経営や農繁期の平準化には、水稻と野菜を組み合わせた複合経営が重要となります。野菜づくりは、継続的な土づくりが高収量・高品質に繋がることから、堆肥や資材購入の各種助成や作業支援、また、本町独自の交付金支援があります。詳しくは青果課までお問い合わせください。

◎営農企画課・青果課

【意見】米価の高騰により農業経営は安定してきているように感じるが、野菜作は天候異変なども含め、近年は収量や品質は厳しい状況となっている。野菜作付け面積の拡大を行っていくためにも、積極的な助成支援が必要ではないか。

【回答】今後も野菜の作付け面積の維持・拡大に向けては、限られた財源の中ではありますが、生産拡大に寄与できるよう独自の交付金額設定や「恵みの田園づくり支援事業」による各種助成支援の拡充を図ってまいります。

【意見】「ひがしかわ新米まつり」を10月3連休の中日に開催したが、事前準備も含め職員の負担軽減を図ってほしい。

【回答】J A役職員だけに過度な負担とならないよう、準備段階・当日・片付けのフェーズごとに仕組み化やマニュアル化の整備と外部パートナーの活用など、現場の負担軽減を図ってまいります。

【意見】役員推薦委員会について、地域によっては委員や役員を選出するため苦勞されているため、地区割を見直してはどうか。

【回答】農家戸数の減少や農業者の高齢化などにより、さらに正組合員は減少していきます。役員選出方法等の見直しについては、地区の担い手や基幹的農業従事者の年齢構成と推移を見極めながら検討を進めてまいります。

【意見】女性役員登用に問題はないが、理事会での協議について教えてほしい。農業団体と一般企業では組織構造が異なるため、女性農業者の人的基盤が出来上がってからの選出でも良いのではないか。

【意見】総会の本人出席と書面出席の割合はどの程度か。様々な意見が出せるよう本人出席を増やせるよう進めてほしい。

【回答】正組合員総数に対して、本人出席13.5％、書面出席64.4％、欠席22.1％となっています。総会に限らず懇談会も組合員の意見を聞く場として、たいへん重要な組合行事であります。多くの出席をいただき、論議いただきたいと呼びかけてまいります。

【意見】職員の離職防止対策として、農家経済が良い年には給与など待遇改善を検討してほしい。

【回答】給与制度には、定期昇給や退職金、福利厚生など保障面での「安定性」が求められます。職員が安心して意

役員視察研修報告

令和7年11月10日～13日に北九方面にて道外役員視察研修を行いました。

○JA糸島産直市場 視察

JA糸島産直市場はJA糸島直営（福岡県糸島市）の産直市場で売上高40億円を誇り、来店客数は、近隣市町村や県外も含め年間120万人、九州地方では売り上げ一位であり、全国でも屈指の売り上げがある産直市場を視察しました。産直市場では、地場産の農産物、海産物、花き、加工品が揃い、約1,500名の会員により生産・出荷が行われており、正月三が日を除き年中無休で職員7名の他、アルバイトを含め延べ100人体制で営業されています。産直市場の運営は、JA直営店ではありますが、JA役員も運営会議には、会員生産者と同じ立場の委員として運営に参画しているとのことでした。



○ホクレン福岡支店視察及び意見交換

ホクレン福岡支店を訪問し、九州地方の農業情勢やホクレン福岡支店の取り組みについて意見交換を行いました。全国の農業産出額は9.6兆円、九州地方は、全国の約21%、北海道は全国の約14%のシェアとなっており、九州地方は北海道の半分程度の耕作面積でありながら、農業産出額では、北海道の約1.5倍の規模を有しており北海道と同様に日本の2大農業生産圏となっています。また、九州北部では稲作を中心とした耕種系品目の比率が高い一方、南部では、畜産の比率が高くブランド畜産品として全国に流通しています。



稲作は、過去には耕地面積の40%を超えていましたが、現在では10%以下であるとのことでした。しかしながら、畜産は、20%から50%、野菜も10%以下から25%に耕地面積が増加しているとのことでした。九州地方の農業情勢を伺った後、様々な意見交換を行い、お互いの産地にとって大変実りのある意見交換となりました。

研修の終わりには、ホクレン福岡支店 石井支店長様より、北海道の強みを磨き上げ、環境変化にも対応可能な「日本一の米の産地」として定着するべく、生産者・消費者双方にとって魅力のある、持続的な取り組みを進めていただきたいとお話がありました。

役員コンプライアンス研修開催

「コンプライアンスの遵守並びに不祥事未然防止に向けて」、「役員の義務と責任」、「ハラスメント対策」の3項目について12月19日（金）に役員研修会をJA中央会旭川支所の廣部調査役、中野職員を講師に招いて開催いたしました。また、職場改善における役員の役割についても合わせて研修いたしました。



欲と能力を最大限発揮し、職務に精励できるよう、待遇改善は計画的かつ着実に実施してまいります。

【意見】一般企業では完全週休2日制が増えているが、JA職員の仕事量は過去から変わっていない。週休2日制導入前に風通しの良い職場づくりも目指してほしい。

【回答】働き方改革の一連の流れから、JA組織でも週休2日制導入に向けた動きが活発化しています。当JAでも来年4月からの導入に向けて、現在、業務効率化や職場環境の改善など準備を進めています。営業時間の変更等、詳細が決まり次第ご連絡します。

【意見】JA役職員のコンプライアンス研修以外に、組合員向けのコンプライアンス研修も実施してはどうか。

【回答】役職員へのコンプライアンス研修は、定期的に実施しております。組合員および経営者向けの同研修開催については、内容や参加規模なども含め検討いたします。

【意見】組合員の健康管理や健康増進について具体的な取り組みを教えてください。

い。

【回答】がん検診や人間ドックの予約受付・費用助成ほか、JA厚生連と連携した配置薬の斡旋に加え、保健薬・健康食品・高齢化に対応できる介護用品もご紹介しております。配置薬推進員が訪問の際に健康に関する情報も提供しておりますので、お気軽に営農企画課または購買指導課までご連絡ください。



国営緊急農地再編整備事業 一時利用地指定に係る現地確認 ～次年度の営農に向けて～

国営事業によって圃場が3反から約2町2反となり、従前の土地の使用ができなくなります。一時利用地の指定とは換地処分が行われ、新しい地番で法務局に登録されるまでの間の行政処分として、都道府県知事が仮地番毎に所有者と耕作者を指定することを指します。毎年度の工事終了後、一時利用地の指定をかけるために換地委員による現地確認を行っています。

今年度の工事は4つの換地区で189ha行われました。10月23日から11月28日にかけて、地区の代表である換地委員が換地計画原案に基づき、区画整理設計図の通り現地が出来上がっているか確認しました。

今後は換地委員会での決定を経て、上川総合振興局に書類を提出し、令和8年2月頃に事前通知、3月に本通知が北海道より送付される予定です。

現地立会の様子



年金友の会 温泉湯治

12月2日から4日にかけて、JAひがしかわ、年金友の会合同主催の温泉湯治が層雲峡温泉ホテル大雪にて開催され、32名が出席されました。参加者は湯治はもちろんのことカーリンコン大会、映画鑑賞、大宴会、ビンゴ大会、カラオケと様々なイベントを楽しみながら、親睦を深めました。参加した方からは「来年も参加したい」、「来年は3泊4日にしてほしい」等のありがたいお言葉もいただきました。

来年度も皆様を楽しめる温泉湯治を企画してまいりますので、ご参加をお待ちしております。



てんげつ庵 高島オーナーを講師に料理教室の開催 ～さつまいものコンポート～

12月2日(火)、町内の菓子店『てん月庵』高島オーナーを講師として招き、JAひがしかわ女性部役員が栽培したさつまいもを使用し

「さつまいものコンポート」の作り方を習いました。部員17名参加の中、和気あいあいとお話しながらコンポート作りに取り組んでいました。さつまいものコンポートは保存も効くので、ぜひ皆さんもお試しく下さい。



JAひがしかわ女性部 親睦会

12月19日(金)JAひがしかわ女性部では「蕎麦と料理おかだ紅雪庭」で部員親睦会を開催しました。親睦会には部員20名が参加し、津谷部長からの活動報告の後、くじ引きによるプレゼント交換など部員同士、美味しい食事に舌鼓を打ちながら交流を深め、充実した親睦会となりました。また、食事後には旧岡田邸館内を女将さんにご案内していただき伝統のある建物に終始、感心しながら拝見させていただきました。



JA HIGASHIKAWA Topics

東川町立第二小学校・ひがしかわライスターミナル視察

11月25日(火)東川町立第二小学校の3年生から5年生が「ひがしかわライスターミナル」を見学に来ました。ひがしかわライスターミナル・機能性精米工場・東川米品質管理棟でJA職員から説明を聞き、普段食べているお米がどのように出荷され、消費者に届けられているかを真剣に聞いていました。米穀課 田中職員は「普段見ることでできない施設を見学してもらいお米がどのように出荷されていくのか知ってもらうことで、自分が毎日食べているお米にもっと興味を持ってもらえると思います」と話していました。



全道JA青年部大会

令和7年12月4日(木)～5日(金)に札幌パークホテルにて第74回全道JA青年部大会が開催され青年部部員5名が参加しました。大会では各地区を勝ち抜いた参加者による、青年の主張、活動実績発表、アームレスリング大会、純農Boyオーディション、「動画で発信!農の魅力」コンテストが行われました。今年度につきましては、JAひがしかわ青年部の出場はありませんでしたが、大会には約800名の盟友が参加し大盛況となりました。



JAひがしかわ青年部 キャラバン隊事業実施

令和7年12月13日(土)～14日(日)に旭川地場産センターにて開催された冬の地場産フェアにJAひがしかわ青年部がキャラバン隊として出店し、東川農産物の販売促進を行いました。例年コープさっぽろで行っている販促事業ですが、新たな試みとして地場産センターで行い、東川農産物を知らない方にも、美味しさや魅力を知っていただく良い機会となりました。会場では東川米の試食も行い、来場者の方から今後の営農活動の励みになる様な言葉もたくさんいただきました。今後も販促事業を通して、東川農産物の魅力を広めていきます。



「ちゃんとチェック！」 北海道の最低賃金

地域別最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額（円）	適用労働者等の範囲
北海道最低賃金	時間額 1,075 7. 10. 4発効	北海道内の事業場で働くすべての労働者及びその使用者に適用されます。

特定最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額（円）	特定最低賃金の適用が除外される者
処理牛乳・乳飲料、乳製品、砂糖・でんぷん糖類製造業	時間額 1,113 7. 12. 1発効	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後3月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け、整理、雑役又は炊事の業務に主として従事する者 4 手作業による洗浄、皮むき、選別、包装又は箱詰め業務に主として従事する者
鉄 鋼 業 ※「鉄素形材製造業」及び「その他の鉄鋼業」を除く	時間額 1,165 7. 12. 1発効	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け、整理、雑役又は炊事の業務に主として従事する者 4 みがき又は塗油の業務に主として従事する者
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 ※「発電用・送電用・配電用電気機械器具製造業」、「産業用電気機械器具製造業」、「電球・電気照明器具製造業」及び「医療用計測器製造業（心電計製造業を除く。）」を除く	時間額 1,116 7. 12. 1発効	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け、整理、雑役又は炊事の業務に主として従事する者 4 みがき又は塗油の業務に主として従事する者 5 手作業による検品、検数、選別、材料若しくは部品の送給若しくは取りそろえ、運搬、洗浄、包装、袋詰め、箱詰め、ラベルはり、メッキのマスキング又は脱脂の業務（これらの業務のうち、流れ作業の中で行う業務を除く。）に主として従事する者 6 熟練を要しない手作業又は手工具若しくは操作が容易な小型電動工具を用いて行う曲げ、切り、組線、巻き線、かしめ、バリ取りの業務（これらの業務のうち、流れ作業の中で行う業務を除く。）に主として従事する者
船舶製造・修理業、船体ブロック製造業 ※「木造船製造・修理業」及び「木製漁船製造・修理業」を除く	時間額 1,105 7. 12. 1発効	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け、整理、雑役又は炊事の業務に主として従事する者 4 みがき又は塗油の業務に主として従事する者

この表を労働者の見やすい場所に掲示して下さい。（最低賃金法第八条）

●最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、1か月を超える期間ごとに支払われる賃金、時間外等割増賃金は算入されません。

●最低賃金は、会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人に適用されます。

●二つ以上の最低賃金の適用を受ける場合には、高い額の最低賃金が適用されます。

●派遣労働者は、派遣先の地域（産業）に適用される最低賃金が適用されます。

●中小企業・小規模事業者のみなさまへの支援策を行っております。

・賃金引上げを支援する「賃上げ」支援助成金パッケージの詳細は、下記QRコードよりご確認ください。

・賃金引上げにお悩みの方は「北海道働き方改革推進支援センター」（0800-919-1073）までお気軽にご相談下さい。（相談無料）

・最低賃金についての詳しいことは、北海道労働局（電話011-709-2311）又は最寄りの労働基準監督署（支署）へお問い合わせ下さい。

・北海道労働局ホームページアドレス <https://site.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>

北海道労働局 検索 ⇒



最低賃金について 検索 ⇒



「賃上げ」支援助成金パッケージ 検索 ⇒



厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

JA HIGASHIKAWA Topics

JA役職員忘年会

12月19日(金)、JA役職員忘年会を旭川トーヨーホテルで開催しました。当日は部署の垣根を越えて職員同士、会話を楽しみながら交流を深めていました。

抽選会では盛んに盛り上がり終始和やかな雰囲気の中、一年を締めくくることができました。

来年も一致団結して業務に取り組んでまいります。



早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2026年2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	△	○	△	×	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	○	×	○	×	○
15	16	17	18	19	20	21
×	○	○	○	○	○	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	○	○	○	○	×

2026年3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	○	○	○	○	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	○	○	○	○	○
15	16	17	18	19	20	21
×	○	○	○	○	×	×
22	23	24	25	26	27	28
×	○	○	○	○	○	×
29	30	31				
×	○	○				

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定

人間ドック検診費用助成

厚生病院での一般受診料金
44,000円が

31,900円に！

※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。

人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課（Tel82-2124）まで

2026年 1月の予定

1 木	JA全業務休業
2 金	JA全業務休業
3 土	JA全業務休業
4 日	JA全業務休業
5 月	金融課仕事始め・スタンド仕事始め17:00閉店 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 火	JA事務所・アグリサポートセンター仕事始め
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	スタンド定休日
12 月	成人の日
13 火	
14 水	
15 木	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
26 月	
27 火	
28 水	
29 木	決算棚卸のためアグリサポートセンター午後休業 スタンド17:00閉店
30 金	決算棚卸のためスタンド・アグリサポートセンター休業
31 土	決算棚卸のためスタンド・アグリサポートセンター休業

2026年 2月の予定

1 日	
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 金	

理事会の動き

第13回 理事会 日程：令和7年12月19日(金)

【議決事項】

- 議案 1 号 11月末定例監査の報告について
 議案 2 号 11月末決算推定について
 議案 3 号 冬期合同農協懇談会・准組合員懇談会の意見及び回答(案)について
 議案 4 号 出資減口について
 議案 5 号 農家経済対策について

お詫び

てっぺんだより12月号に掲載した【理事会の動き】の議決事項内容の中で議案第6号、議案第7号、議案第8号につきまして誤って掲載いたしました。掲載を取り下げるとともに
お詫び申し上げます。



家の光レシピ

じふに 治部煮 ~ シュンギクたっぷり金沢の郷土料理 ~

＜調理＞●上島亜紀 『家の光』2026年1月号「家の光料理カード」掲載

材料(2人分)	作り方
シュンギクの葉 ……………1/2束分(60g) 鶏もも肉……………1枚(300g) 焼き豆腐 ……………1/2パック(150g) 干しシタケ(スライスタイプ) ……………5g ニンジン(5mm幅の輪切り) ……………4枚	①干しシタケは2カップのぬるま湯で もどし、もどし汁はとっておく。焼き豆腐はざるに上げて水けを切り、4等分に切る。ニンジンは好みで花型に抜く。 鶏肉はキッチンペーパーで水けを拭き取り、厚みが均一になるように開く。余分な脂を取り除き、6等分に切ったかたくり粉大さじ1と1/2をまぶす。
A [しょうゆ……………大さじ3 みりん・酒……………各大さじ2 かたくり粉 ワサビ]	②鍋にAと干しシタケ、もどし汁を強めの中火で煮たせ、鶏肉、焼き豆腐、ニンジンを加える。ふたたび煮たら中火にし、途中具材を返しながらかたくり粉を足してとろみをつける。
	③②にシュンギクを加えてさっと煮る。器に盛り、ワサビ適量を添える。

著者 上島亜紀

農協文庫 新刊



おうちで作る
お店みたいなフルーツタルト



しあわせ雑穀レシピ

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

※金融課からのお知らせ※

1月24日(土)はATMの営業を休止いたします。
ご不便をおかけしますが、何とぞご了承くださいますようお願いいたします。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120-82-2125へ